人文・社会

防災や復興に関する調査、計画づくり

ライフデザイン学部 安全安心生活デザイン学科／復興まちづくり、地域防災、応用地理学
福留　邦洋　　FUKUTOME Kunihiro
准教授、博士（都市科学）

1．研究内容

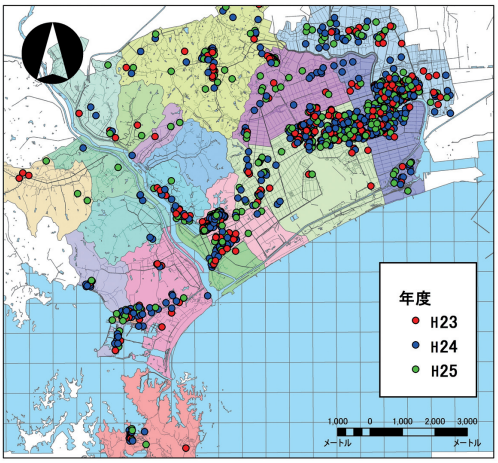
阪神・淡路大震災、新潟県中越地震、東日本大震災等の被害や復旧・復興について調査、研究してきました。特に生活再建の観点から住宅再建や支援制度、地域コミュニティなどに着目しています。

また臺灣集集大地震やトルコ地震など海外の災害にもいくつか関わってきました。海外調査から、日本にはない取り組みや考え方、参考となる事例が得られることもありました。災害の教訓を発信、伝承していくしくみにも関心を持っています。

2．地域・産学連携の可能性

新潟県中越地震（新潟県）や東日本大震災（女川町）の復興計画策定に携わってきました。復興計画の策定や支援制度・事業の検討などに関われるかと思います。またいくつかの地区・集落単位の計画づくりを行っています。防災研修の企画・運営や講演なども受けてきました。

これまでは、県や市町村など自治体、NPO 法人などと連携、協働を行ってきましたが、内容によっては、企業等の防災、復興内容の検討、計画づくりなどにも貢献できればと考えます。



震災発生後に建築された住宅の分布（東松島市）

生活再建に関するヒアリング

女性消防団に関するワークショップ

執筆論文　災害発生による集落移転要因に関する研究－新潟県中越地震における小千谷市十二平集落の防災集団移転促進事業を事例として－、都市計画論文集 47(3)、pp.913-918.

復興計画、地域コミュニティ、防災研修・教育